

(29) 地域ニュース 山城市内

2004年(平成16年)7月24日(土曜日)

割りばし再利用 海の生き物作り 京大総合博物館 使用済み割りばしを使っ

て、海の生き物を形作る実
演が、二十三日、京都大総
合博物館で開催中の企画展
「森と里と海のつながり」
(京都大フィールド科学教
育研究センター主催)で行
われた。割りばし細工を手
がける千葉県四街道市の小
池正孝さん(70)で、巧みな
技に子供たちが興味深げに
見入っている。



割りばしで作った魚や貝を手にとる子供

無類の魚好きという小池
さんは、一九九〇年、五十
六歳で会社を退職後、食堂
の使用済み割りばしで魚を
作

り始めた。これまでに作
った海の生物はカレイや
サケ、タコやヒトデなど
約五十種二百個にのぼる。
割りばしを洗って乾かし、
木工用ボンドで接着して
寄せ木にする。小刀で削
り、紙やすりで磨き形を整
える。

会場では、子供たちが作
り方を尋ねたり、完成品
を手にとったり。小池さん
は「夏休み、好きなもの
をじっくり観察して作っ
てみては」と呼びかけて
いる。

今回の実演は二十五日ま
で。八月二十六・二十七日
も行われる。